

検針員の高齢化、人手不足に対応

LPWAによる省人化でコスト削減

上島瓦斯株式会社は1973年7月11日に設立。ガス機器や灯油機器、住宅設備機器、太陽光発電システムの販売、ガス工事、給水給湯排水工事などの事業を手掛ける。

上島瓦斯株のある広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央にある芸予諸島の大崎上島などを町域とする。竹原市の竹原港、東広島市の秋津港からフェリーで約30分。島内浦々に造船所があり、瀬戸内海式気候から柑橘類の栽培も盛んな地域だ。

大崎上島町の2024年1月1日時点の世帯数は3,964戸。人口の減少が進み、2014年からの10年で300戸以上減少した。

濱田光秀社長は「LPガス事業者もかつては島内に10社くらいあったが、現在は当社を含めて3社だけになった」と話す。

供給エリアの拡大で検針員が不足 補助金活用し設置率は50%超え

上島瓦斯株は、大崎上島の玄関口である東野地区と、愛媛県の大三島と向き合う木江地区を結ぶ幹線道路に立地する。

お客様件数は約2,000件で、島内世帯の半数をカバーしている。「廃業する事業者のお客様を引き受ける形で、お客様の数も増えてきた」と濱田社長。供給エリアも地元東野地区から南部の木江地区、西部の大崎地区と拡大するなかで、検針員の不足が問題になってきた。



島内世帯の半数をカバーする上島瓦斯株



濱田光秀社長

濱田社長は「検針員も高齢化し、地区によってはお客様の対応ができないところも出てきたことが、LPWA通信システムの導入を決めた大きな理由」と話す。

令和5年度構造改善推進事業を活用してLPWA



遠隔地の開閉栓も社内に対応できるようになった

A端末を500件に設置した。これにより、すでに設置していた集中監視システムと合わせたトータルの設置件数は、お客様件数の半数を超えた。

「LPWAによる自動検針に移行したことで、検針業務の効率化も図れ、検針員の省人化でコスト削減にもつながっている」と濱田社長はメリットを実感している。

お客様とのコミュニケーション継続 設備工事資格者による自社施工が強み

遠方地のお客様における遮断時の復帰作業なども、遠隔開閉栓システムにより社内に対応できるようになった。

ただ「島内には高齢者も多く、配達の際の声かけなど、コミュニケーションを保ちながらDX化も進めていきたい」と話す。

上島瓦斯(株)では従業員5人全員がガスをはじめ、給水、給湯、排水管など設備工事関連の資格を有しており、自社工事のスキルが高いことが会社の強みだ。

また、保安面においても上島瓦斯(株)は、LPガ

ス安全委員会の保安優良LPガス販売事業者表彰をこれまで3度受賞している。

「島ではオール電化住宅の普及よりも高齢化のスピードの方が速い。今後は高齢者福祉施設や公的施設へのLPガス採用を提案していきたい。国の構造改善推進事業においては、人材育成、特にDX関連での教育研修などに対する支援を望む」と濱田社長は語った。

L PWA通信システムの実態調査票

事業者名	上島瓦斯株式会社	フリガナ	カミジマガスカブシキガイシャ
所在地	広島県豊田郡大崎上島町東野4146-4	ホームページ	
代表者	濱田光秀	従業員数	5 名
事業責任者名	濱田光秀	役職	代表取締役
担当者名	濱田光秀	部署・役職	代表取締役
電話番号	0846-65-2875	メールアドレス	Kamijimagasu01@outlook.jp
お客様件数	2,039 件／うち家庭用 1,996 件、業務用 43 件		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ L Pガス、灯油器具販売 ・ 住宅設備機器販売 ・ ガス、給水、給湯、排水工事全般 ・ 太陽光発電システム販売 		
会社の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給水、給湯、排水管などの設備工事 ・ 全員工事関連の資格を有し、自社工事のスキルが高い。 		

L PWA通信システム設置件数と設置率	設置件数(導入後)	1,000 件	／設置率(導入後)	50 %		
	設置件数(導入前)	500 件	／設置率(導入前)	25 %		
	導入前比増加件数	500 件	／導入前比増加率	25 %		
活用方法	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安					
	<具体的な活用方法>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動検針導入による検針業務の効率化 ・ 遠隔開閉栓システムの構築、集中監視による保安の高度化 					
導入目的	<申請前における問題点>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検針員の高齢化と人員不足 ・ エリアの拡大に伴う保安・点検業務の負担 					
	<期待した導入効果>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動検針に移行することで検針業務の効率化 ・ 検針員の省人化 					
導入費用	総額	5,000,000 円		／内補助金対象額	2,500,000 円	
	補助金額	2,500,000 円				
導入期間	補助金申請日	西暦	2023 年	月	日	
	機器設置完了日	西暦	2024 年	3 月	日	
	所要期間	カ月				
実行体制	合計	5 名	／うち社内	5 名、	社外	名

導入までのスケジュール			
・仕様検討	月～	月	(カ月)
・メーカー選定	月～	月	(カ月)
・設置先選定	月～	月	(カ月)
・補助金申請書作成	月～	月	(カ月)
・事前調査	月～	月	(カ月)
・事前周知	月～	月	(カ月)
・設置工事	月～	月	(カ月)
・試験運用	月～	月	(カ月)
・本格運用	4月～		
・メーカー講習会	月		
・その他()	月		
通信機器メーカーの選定理由	同メーカーのマイコンメーターを活用しているため		
導入・設置を進める中で生じた問題点と改善策	特になし		
導入後の効果(コスト面、効率化、お客様の反応等)	検針作業の効率化、検針員の省人化でコスト減		
事業における導入後の影響や変化(お客様対応、社内体制等)	遠隔開閉栓システムで遠い現場に行くことなく社内に対応できる		
今後の拡張方針	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安 <input type="checkbox"/> その他() <具体的な活用方法> ・データ活用による配送ルートの効率化		
自己評価 (5点満点) 5点=大変だった ↓ 1点=大変でなかった	作業項目	評価	評価5点または4点の具体的な内容
	申請作業	点	
	メーカー選定	点	
	事前周知	点	
	設置工事	点	
	試運転	点	
その他	点		
申請からこれまでにあった反響・意見・要望等(社内、取引先、お客様等)	・高齢者が多く、声かけや見守りの重要性を感じている。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス(こうしておけば良かった、注意すべき点等)			
構造改善事業において今後支援を望むこと(具体的な内容)	・人材育成、教育事業に対する補助、特にDX関連 ・配達労働の軽減につながるハード面での補助		